

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年2月20日（金）

2 確認箇所

2号機燃料取り出し用構台（図1）

3 確認項目

2号機燃料取り出しに向けた工事の状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では、2号機使用済燃料プールからの燃料取り出しに向けた準備作業が進められている。

本日は、2号機燃料取り出し用構台^{※1}（写真1）に設置されている燃料取扱設備^{※2}の状況を確認した。

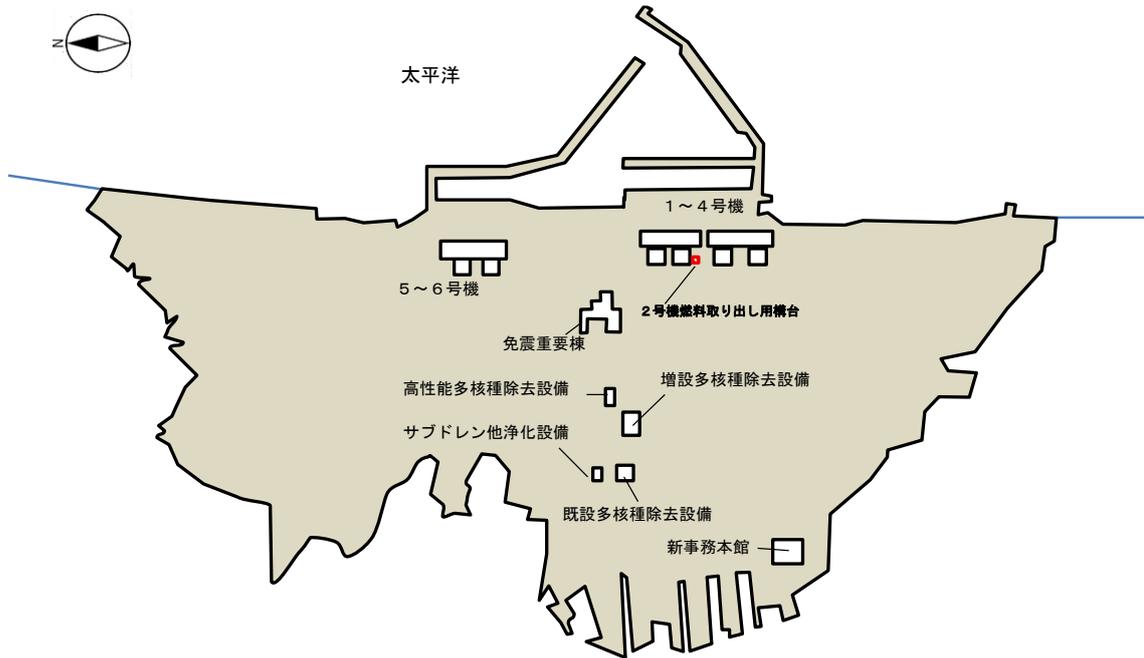
- ・ 走行台車の上に、クレーン、燃料取扱機、ジブクレーンが設置されていた。（写真2）
- ・ 燃料取り出し用構台の北側には汚染拡大防止ハウスが折りたたまれた状態で設置されていた。燃料取り出し作業時には、燃料取扱設備全体を覆い作業するとのことであった。（写真2）
- ・ 確認当日は、燃料取扱機の試運転が行われていた。東京電力によると、実際の構内輸送容器（キャスク）及び模擬燃料を使用し、一連の燃料取り出し作業の手順を確認する試験（ワンスルー試験）を実施しているとのこと。また、現時点で作業は順調に進んでおり、計画どおり来年度第1四半期の燃料取り出し開始を目指しているとのこと。

※1 燃料取り出し用構台

使用済燃料プールに保管されている燃料の取り出し作業を行うため、原子炉建屋南側に隣接する位置に設置した構造物。

※2 燃料取扱設備

燃料取扱設備は、走行台車、キャスクを吊り上げるためのクレーン、燃料を取り扱う燃料取扱機及びキャスクの蓋を吊り上げるジブクレーンで構成されている。燃料の取り出しは、①空のキャスクを使用済燃料プールへ移動、②キャスクの蓋を開放、③燃料をキャスクに装填、④キャスクの蓋を閉じる、⑤キャスクを燃料取り出し用構台へ移動の順で実施される。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1) 燃料取り出し用構台外観



(写真2) 燃料取扱設備の設置状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。